



— 伊吹山 —

顧みますと、昨年は大変に変化の多かった年だと感じています。世界的な景気の悪化による不況、歴史的な政権交代、自然災害の多発、新型インフルエンザの流行など様々な出来事で世相が揺れ動いて来ましたが、そんな中で肥田町は、順次進められてきました。圃場整備事業も、ほぼ全面的に完成

新年あけましておめでとうございます。町内の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は自治会活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜りありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

賀正 年頭にあたり

自治会長 大家 勝 治



hida

広 報

ひだ

町 木



第53号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H22.1.1 発行

に至り、新しい近代的な肥田の農業が始まりました。既には、初めての米、麦、大豆の収穫も終わり早や今年の耕作準備も進められています。今後は若い方々の積極的な協力も仰ぎ、生産組合を中心に、より効率的、効果的に水田の維持管理、事業経営が進められることをお願いしたいと思います。

また、県、市からの支援事業、農地、水、環境向上運動(肥田まちおこし推進協議会)は、今年で4年目に入り、町民皆様の深いご理解、ご支援のお蔭をもちまして順調な進捗の運びとなっております。5年間限定の支援事業も後少しとなりましたが、ここで将来を見据えた体制整備に衆知を集めて、更なる有効的活動を進めて参りたいと存じますので、一層のご協力よろしくお願い申し上げます。

昨年はまた、町内において就寝中の盗難被害、竹藪敷地のボヤなども発生しています。町内の安全を考えますと、やはり日常で一人一人の方の安全管理に対する意識、お隣同士の声の掛け合い、災害に対する迅速な対応が正に大切と思われます。

自然で豊かな、そして美しい町、安全で住み良い町は、みんなの願い。本年も自治会をはじめ各種団体が力を合わせて努めてまいりたいと存じますので、町民皆様に一層のご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本年が皆様にとって

も肥田町としても良い年でありますようご祈念申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶

おめでとう ごぞいます 平成22年

益々のご健勝とご多幸を
お祈り申し上げます。

(敬称略・順不同)

成人 平成1年生	矢守 圭一 元持 守 成宮 衣代	松山 弘一 鹿島 滋
還暦 昭和25年生	大家 由里子 児玉 和男 薩摩 雅子 福原 妙子 吉岡 久次郎 森田 喜久雄 西田 幹雄 小室 宗純 宮川 幸司	青木 不二江 薩摩 茂和 薩摩 幸男 成宮 八ツ 鵜野 喜八
古稀 昭和16年生	元持 きぬ江 薩摩 正平 藤野 ナラミ 元持 光子 藤野 好弘 大村 肇 伊関 美代子	米寿 大正12年生 宮川 八重 滝 佐一郎
傘寿 昭和6年生	藤野 育枝 高瀬 俊英 薩摩 綾子 松村 綾 藤野 泰弘	

平成22年 成人の日 を迎えて



成宮 衣代さん 平成2年1月14日生まれ

皆様、明けましておめでとうございます。

今日まで、家族や温かく見守って下さった多くの方々のおかげで、もうすぐ成人の日を迎え二十歳になることができます。ありがとうございました。

まだまだ未熟な私ですが、これからは大人としての自覚を持ち、自分の行動に責任を持てる人間になれるよう何事も前向きに努力していききたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(成宮 克郁さん) 平成1年1月14日生まれ

成人式は同じ学年度で行われますので、平成21年1月に既に参加されています。ご紹介を失礼いたしました。



元持 守さん 平成2年2月4日生まれ

新年、明けましておめでとうございます。

私が今、こうして二十歳を迎えることができたのは、今まで同じ時間を共にしてきた家族や友人などの多くの人との出会いがあったおかげです。

今までは家族に甘えていたところもありましたが、これからは自分の力で歩いてゆき、一步一步を踏みしめて前に進んで行きたいと思ひます。お世話になった家族には、少しでも親孝行が出来ますように頑張つてゆきたいです。まだまだ未熟者ですが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



矢守 圭一さん 平成1年8月26日生まれ

多くの方々に支えて頂き、無事に成人の日を迎えることができました。

これからの人生、大人としての自覚を持ち、一步一步、人として成長していききたいと思ひます。

早く一人前の大人になれるよう精進していききたいと思ひますので、これからもよろしくお願いいたします。

新春特集

今、聖泉大学女子ホッケーが熱い

Let's
Play
Hockey!!

このたび「広報ひだ」では、予てから、その活動に注目していました地元聖泉大学の女子ホッケー部を取り上げさせていただき、今の燃える熱気としてこれから未来への無限の成長への可能性に、加えて地域の活性化に結びつけて取材いたしました。地域での子ども達、明るく強く、そして集中力のしっかりした子どもに育って欲しいという願いは、やはりスポーツ文化との出会いが大切だと思います。野球、バレー、卓球、サッカー、剣道などと色々種目があり、今日その選択の幅も国際的スポーツの交流と共にどんどん広がっています。そんなところから「今、聖泉大学女子ホッケーが熱い」を選びました。

○聖泉大学の女子ホッケー部が誕生したのは平成20年、その活躍は、まだ2年目にして毎年行われる大学王座決定戦、全日本学生選手権の常連校に進出、ベスト8に定着し、更にベスト4を脅かす存在になりたいと今は激しいチャレンジの時です。(全国で女子ホッケー部を持つ大学は、関東で有名な大学20校、関西で12校、他に北海道、九州を含めて合計40校にのぼる)

○聖泉大学が女子ホッケー部を創設された動機を伺いますと、大学が学生集団の露出策としてホッケーに注目し、本学のシンボリックスポーツとして平成20年に女子ホッケー部が誕生しました。その背景には、ホッケーという競技が近隣町でもある旧伊吹町に昭和56年の国体を契機として根付いていたという理由があります。伊吹町を中心に高校、中学、小学校でホッケー部が存在し全国区で活躍しています。しかしながら滋賀県内でホッケー部を有する大学が無いので、ホッケーを続けたい高校生は他府県へ向かわざるを得ないという残念な現状でありました。そこで本大学がホッケー部の設立を図ることにより優秀な人材の受け皿的役割を果たし、小学、中学、高校との連携を強めて段階的な選手の育成に結びつけることが可能となる、また全国、世界に通用する選手を輩出することも可能となり、ひいては地域の活性化にも貢献できればと考えて進んで来ておられます。

○2年目にしてここまでの成長を見ているのは、一つには、聖泉大学にホッケー部を強化部として創設に際し、滋賀県ホッケー協会、全国の高校、各ホッケー指導者、保護者の方々のご理解とご支援のお蔭によることと、今一つは別掲プロフィールでご紹介しておりますように、経験豊かで熱血の宮崎奈美監督を招かれ、そのお人柄と厳しい指導と温かい包容力の浸透が、**モットーとされている「ホッケー選手として、そして大学生として、人間として成長して欲しい」**が選手個々人の自覚を促し、素晴らしいチームワークをいち早く創り上げて来ておられるところ大と拝察しています。



*宮崎奈美監督 プロフィール

滋賀県米原市(旧 伊吹町)出身
春照小学校ー伊吹山中学校ー伊吹高校ー山梨学院大学
ー南都銀行

(高校時代には2年連続ユース日本代表、大学時代から日本代表ゴールキーパーとして11年間活躍し、2004年にはアテネオリンピック出場を成し遂げ、2005年には社会人大会・全日本選手権大会において優勝。2008年8月より聖泉大学女子ホッケー部監督に就任。)

○聖泉大学女子ホッケー部は、ホッケーの好きな、大好きな選手の集まりです。選手の方に、「女子ホッケー部の強い理由はどこにあるか」とお聞きしました。



◆沖野成美さん

私がホッケーに出会ったのは、高校に進学した時で、それまでは全くホッケーの事を知りませんでした。しかしホッケーを始めて仲間や恩師と取り組んでいくうちに、どんどんホッケーが好きになって行きました。大学への進路を決める時に聖泉大学にホッケー部が新設されると聞き、大好きなホッケーを続けながら私が興味を持っていた心理学が学べることに魅力を感じて聖泉大学への進学を選びました。大学生になって感じることは、大学は自分が学びたいことを自らの責任のもとで学ぶということで、聖泉大学では、そういう学生と先生との距離が近く、親身なアドバイスを頂けることで、より自分自身を成長させることが出来る場所であると思います。そのような環境であるからこそ、真剣にホッケーに取り組むことが出来ています。

毎日ホッケーをしている中で創部2年目だからこそ、部員達の中に自分たちチームを確立させていきたいという気持ちをもって練習に取り組んできたことが、「関西3位」「インカレベスト8」という結果に結びついたと思っています。まだ若いチームであるから、これからは向上心を持って練習に取り組みチーム一丸となって前進し続けたいと思っています。

◆松中はるなさん

「ルールがサッカーみたいでかっこいいから」そんな単純な理由で私はホッケーを始めました。実際にやってみると、思ったより難しくハードでしたが、何よりホッケーって楽しいと感じました。高校3年間でとてもホッケーが好きになり色々な人と一緒にプレイしてみたい、もっと上手になりたいと思ったので大学でも競技を続けることに決めました。

聖泉大学に入って、大学生活やホッケーを通して多くのことを学び吸収し、人としても選手としても成長できたと思います。聖泉大学女子ホッケー部は、他のどこの大学のチームより先輩、後輩ともに仲良く、明るく元気なチームだと思います。ゲームでは1人1人がやるべきことをきちんとし、頭を使いしっかり考え、いっぱい走って運動性のある動きから流れるような攻撃を目指しています。試合をしている私たちは勿論、試合を見ている人も楽しめるホッケーをしていきたいです。是非ホッケーを観に来てください。一緒にホッケーを楽しみましょう。

取材へのご協力ありがとうございました。

新年に当たり、女子ホッケー部のみなさんの輝く青春と益々の飛躍を心から祈念いたします。聖泉大学女子ホッケー部の練習、競技を大人の人も子供たちも身近に見ていただき、選手の方々と一緒にホッケーを楽しみましょう。

